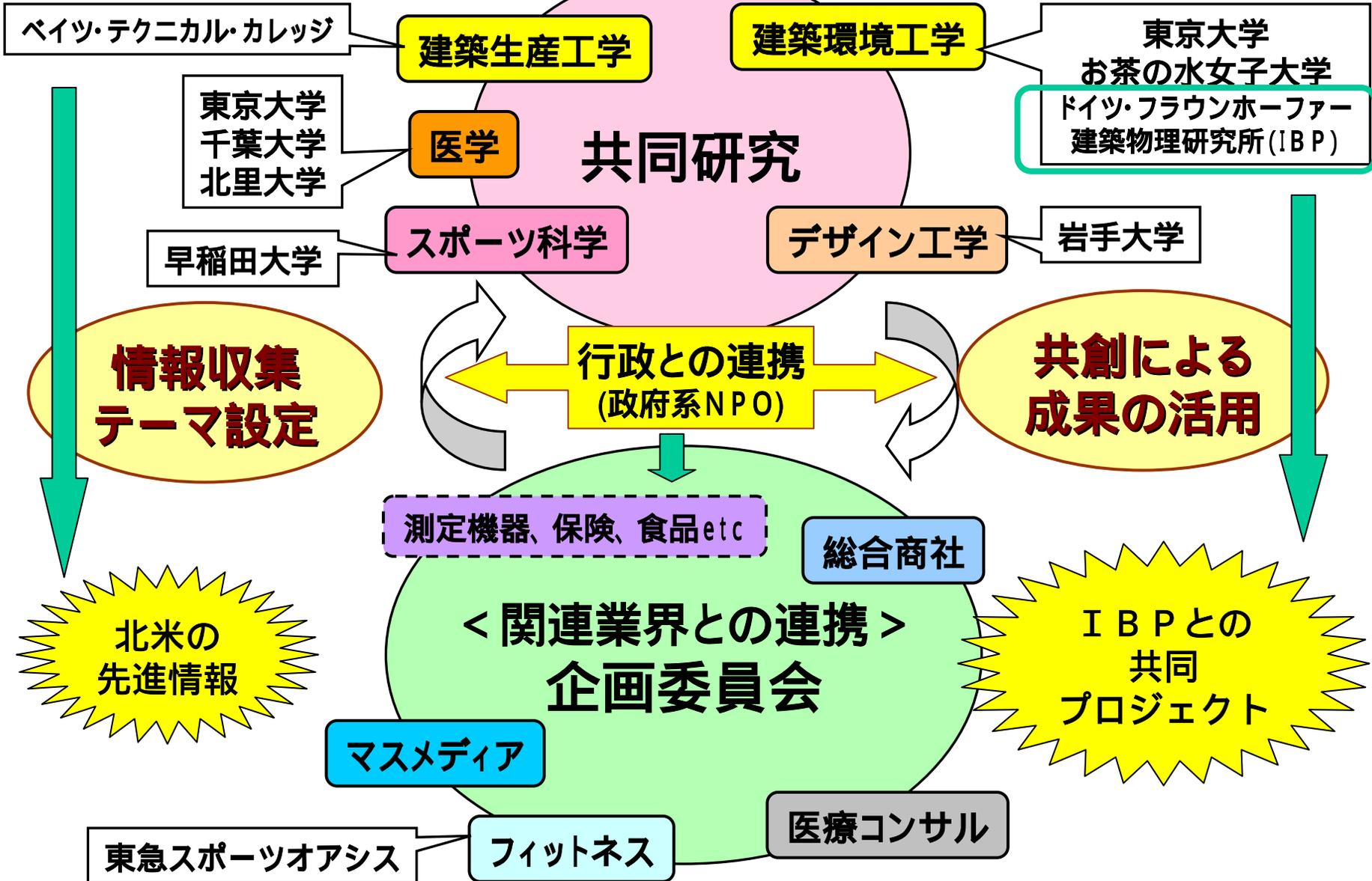


E B H住宅研究所のネットワーク



ヨーロッパ最大の応用技術研究機関 ドイツの『フラウンホーファー研究機構』と業務提携

お茶の水女子大学・田中辰明先生の紹介で、
ドイツのフラウンホーファー建築物理研究所（IBP）を訪問・協議

ドイツには健康・エコロジーの
先進的な取組みが有る



2005 / 2006
Deutschland in Japan
日本におけるドイツ

東急ホームとIBPの業務提携により
共同プロジェクトを推進
【ドイツ型健康住宅モデルを建設・提案】

2005年4月～2006年3月
日本における【ドイツ年】

2005年6月2日
フラウンホーファー研究機構と
業務提携契約を締結



背景ードイツ住宅市場の概要

木構造はプレファブ化
パネル構法が主体

木造一戸建のシェアは低いが、増加傾向
環境・健康の視点で推進
壁厚 = 140 ~ 160mmが主流
複合断熱システム & 透湿シートが普及

省エネルギーを
国策として積極推進

数年毎にレベルアップ
ガイドラインで誘導 数年後に基準化
エコロジーも積極推奨
環境負荷が少なく健康に良い自然素材
太陽光発電、雨水リサイクル

